



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 3

2024.7.17(No.3208)

ロータリーはステージ・
みんなが輝く!

第2560地区ガバナー／南雲 博文
会 長／渡 辺 良 一
会長エレクト／柳 取 崇 之 (クラブ奉仕A)
副 会 長／西 山 徳 芳
幹 事／船 越 良 則
S A A／落 合 孝 夫
会 計／小 林 吾 郎
直 前 会 長／吉 井 直 樹
会長ノミニー／小 林 吾 郎 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:55名中38名
■先々週出席率:89.09%

【先週のメイクアップ】

[7.11] 加茂RCへ

- ・杉山幸英さん、 渡辺良一さん、
・落合孝夫さん

[7.13] ガバナー補佐ラーニング・
パート1 (白根)へ

- ・関川 博さん、 早川滝徳さん

[7.16] 三条北RCへ

- ・石橋育於さん、 小越憲泰さん、
・五十嵐晋三さん、 斎藤弘文さん、
・中村和彦さん



「鳥海山と池塘」

会長挨拶

渡辺良一 会長



皆さんこんにちは。ご挨拶いたします。
この一週間もショッキングな出来事がありました。

トランプ元大統領の襲撃事件、大統領選挙に大きく影響を及ぼしそうです。

楽しいニュースとしては、女子プロゴルファーの古江彩佳が日本人4人目のメジャー大会で優勝いたしました。(仏 エビアン選手権)

本日の話題をお話いたします。

7月15日は海の日でした。そこで、今日は海のお話を致します。

それも江戸時代の海の路についてお話いたします。

徳川幕府の本拠地は江戸でしたが、経済の中心は大阪・京都の上方でした。

全国の商品が大阪に集められ海陸両路で江戸に輸送されました。

海の路 日本列島は3つの海のルートを廻船と呼ばれる定期便で結ばれていました。



2024～2025年度国際ロータリーのテーマ

南海路 江戸と大阪を結ぶルートです。菱垣廻船（ひしがきかいせん）もしくは樽廻船（たるかいせん）と云う木造の〔弁財船・ベザイ船〕和船が定期船として使われていました。

東廻り航路 青森 津軽海峡を出発して太平洋に抜けて南下し、房総半島を迂回して江戸に至る海路。

これは、困難なルートでした。

困難の理由が、地球的な海の流れである黒潮です。この流れに大変多くの方が遭難致しました。代表的な人物が「ジョン万次郎」です。

西廻り航路 下関の赤間ヶ関（あかまがせき）から瀬戸内海に入り、兵庫・大阪を經由し紀伊半島を迂回し、遠州灘（えんしゅうなだ）から江戸を目指すルートです。困難な東廻り航路に比べ安全な航路で有った為、江戸時代の重要なルートになりました。この航路の延長線が日本海を經由して蝦夷地まで延び、大量の物資を各地から大阪・江戸に運ぶことになりました。

ここで活躍するのが新潟でも縁の深い動く総合商社北前船（きたまえぶね）・千石船とか言う当時大型だった船でした。

ご存じの通り当時の日本経済の大動脈です。北前船の船主たちが商売をし軒並み名だたる豪商に育っていきます。

越前駿河の右近権左衛門、後の日本火災海上保険（株）の創業家。兵庫の北風荘右衛門。そして、函館を開拓し、後に日露交渉の間に立ち、解決に導いた高田屋嘉兵衛 等がいます。

（大和田荘七・銭屋五兵衛・広海二郎・右近権左衛門・高田屋嘉兵衛・本間光丘・北風荘右衛門・久保彦兵衛 等）

幼いころより千葉の海を見て育ってきた私ですので、海に対しての憧れを強く感じてきました。

今後、機会が有りましたら海に関わるお話をし、皆様と海の旅が出来たらと思っています。

最後に、**南海路**で京・大阪から江戸に運ぶものを「下りもの」と呼びました。主に樽廻船が運んだ灘の酒が代表的なものです。江戸で生産されたものを「下らないもの」「下らないものを買ってしまった」とかに使われる言葉の語源です。因みに関東で作られた物で「下らないもの」を脱却した物が野田・銚子の醤油でした。

私も「渡辺の挨拶は、くだらねえ!!」とか言わないよう頑張りたいと思います。

会長挨拶終わります。

江戸時代の廻船航路



（資料 江戸時代の海運と五街道）



菱垣廻船の復元絵図（絵：谷井建三）

幹事報告

船越良則 幹事



◎三条ローターアクトクラブより

「7月第二例会のご案内」

日 時 7月18日(木) 19:30~

会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室

◎第2660地区より

「大阪・関西万博開幕祭のご案内」

日 時 2025年4月12日(土) 16:30~20:30

会 場 大阪国際会議場

◎次週 24日(水)は、夜例会「納涼例会」です。

ご欠席の方は事務局で記帳または他クラブでメーカーアップをお願いいたします。

ニコニコBOX

渡辺良一会長

先週、加茂RCの例会に参加してきました。
杉山補佐、落合さん、お二方ご苦労様でした。
佐野先輩、卓話よろしくお願い致します。楽しみに
しています！

落合孝夫さん

姪っ子に子供が産まれました。めでたい事です。
佐野さん、卓話よろしく申し上げます。

荻根澤隆雄さん

昔、幹事の荻根澤です。元、会長の佐野様(47代)
今日は楽しい話にてお願い致します。

吉井直樹さん

先週末、久しぶりに学生時代の仲間と会いました。
懐かしさと楽しさで、時間を忘れていました。
本日佐野さん、宜しくお願いします。

西山徳芳さん

梅雨の後の雑草の伸びた畑で戦っています。
佐野さん、卓話待ってました。

菊池 渉さん

暑中お見舞 申しあげます

野崎喜一郎さん

先日、襟裳岬に行ってきました。札幌すすき野は
インバウンド客で大変な混雑。一方、襟裳岬は雄
大な大自然がたっぷり。北海道の両極端を堪能し
てきました。襟裳岬には「風の館」という展示施
設が作られています。ここで風速25mの風を体験
することができます。ここではこんな強風がよく
吹くそうです。

道中の日高地方はサラブレッドの産地です。サラ
ブレッド銀座の通りがあり、左右牧場だらけで
す。これがズット続いていました。途中、昭和の
アイドルホース「ハイセイコー」の墓があり、お
参りして来ました。また、優駿メモリアルパーク
には平成の名馬「オグリキャップ」の実物大の
モニュメントが飾られていました。競馬ファンに
はサラブレッドの聖地みたいです。

斎藤弘文さん、高橋 司さん、松永一義さん、
歸山 肇さん、五十嵐晋三さん、相場弘介さん、
小出子恵出さん、渡部 宏さん、小越憲泰さん、
早川滝徳さん、中村友昭さん、船越良則さん、
白倉徳幸さん、石倉政雄さん、関川 博さん、
小林吾郎さん、杉山幸英さん、山田富義さん、
安達俊明さん、嘉瀬一洋さん、中林順一さん、
明田川賢一さん、松永隆夫さん、丸山行彦さん

佐野会員、本日は卓話ありがとうございます。
お話楽しみにしております。

7月17日分 ￥ 32,000
今年度累計 ￥ 115,000

「卓話」

「姉妹クラブ締結から現在までの状況」



国際奉仕・友好クラブ委員会
委員長 佐野勝榮 会員

私は2003～2004年度に三条
ロータリークラブの第47代会長
を拝命しました。当クラブには、
故藤田説量パストガバナーや
鈴木宗資商工会議所会頭など、
著名なメンバーが揃っていまし

た。会長就任時、私は52歳で、歴代会長の中で最も
若かったため、大変緊張したことを覚えています。
また、私を支えてくれた大幹事の荻根澤隆雄さん
には、手となり足となり大変お世話になりました。
感謝の気持ちでいっぱいです。

RI会長はジョナサン・B・マジアベさんで、RI
会長テーマは「手を貸そう」でした。2560地区ガバ
ナーは故原信一さんで、彼は環境保全、地球温暖化
対策、会員増強、クラブ活性化、参加して感動する
ことに手を貸そうというテーマを掲げました。当
三条クラブは、「恵まれない人々へ手を貸そう」と
「友好クラブを創ろう」という2つのテーマを掲げま
した。

社会奉仕活動として、三条南クラブや北クラブに
呼びかけ、槻の森運動公園に3クラブ合同で地球温
暖化防止の一環としてドングリの木を植樹しまし
た。22年以上経過した今も、大きく育っています。
地区のロータリー財団には、県内7クラブ合同で
スーダンの難民支援を行いました。また、第4分区
IMでは田上あじさいクラブで原ガバナー夫妻出席の
もと、環境保全、地球温暖化防止事業として植樹を
行いました。

さて、今日のテーマである姉妹クラブ締結から
現在までの状況についてですが、どの国のクラブと
姉妹クラブを締結するか悩みました。2560地区内
では13クラブほどが海外のクラブと結んでいました。
長く継続するためには、親日的で近い国のクラブが
良いのではないかと考え、台湾(中華民国)を選び
ました。幸いにも新潟空港からの直行便がありま
した。どのようなルートでアクセスしようかと思案
していたところ、スキー仲間の故吉井俊介さんが
「佐野さん！ロータリーの友に台湾のクラブが、
日本のクラブと姉妹クラブを結びたいとの記事が
載っているよ！」と教えてくれました。ロータリー
の友などじっくり読んだことがない私は、この時
ばかりは役に立つんだなあ実感しました。早速、
記事にアクセスしました。

台北にある土城RCの洪俊傑さんから連絡があり、

来日して三条まで来ていただきました。お会いしたところ、大変日本語が流暢で驚きましたので、「洪さん、日本語ペラペラだね」と言ったら、「日本大学生物資源学部に留学していたんだ」と言ったので、「なんだ、俺の後輩か」と言ったら、一気に喜び、「佐野先輩!」と呼ばれ話が弾みました。ロータリーの友の記事は、洪さんの父親が3700地区ガバナーで、新竹城中RCが日本のクラブと姉妹クラブを結びたい要望を聞き、日本のロータリーの友に掲載したようです。

見通しが立ったので、クラブ会員全員に姉妹クラブ締結についてアンケート調査を行いましたところ、63名中反対者が4名ほど出ました。一般的には賛成が過半数以上であればOKと見なし計画を進めますが、同じクラブのロータリアンであるため、反対者の意見も聞く必要があると思い聞き取りを行い、2回目のアンケート調査を行いました。残念ながら1名の反対者が出ましたが、ほぼ100%と見なし実行に移しました。

私の会長任期が終わろうとする頃、台湾新竹城中RCへ次年度会長の渡辺喜彦さんと共に友好を図るため訪問しました。その後、皆さんも記憶に残る2004年7月13日の水害が発生し、堤防決壊により嵐南地区を中心に浸水し、死者9名、重軽傷者80名、浸水等による被災は7500世帯、2万人を超える甚大な被害をもたらしました。その時の総理大臣小泉首相が視察に来たことを覚えています。今年で20年になります。会員も複数被害を受け、渡辺年度は姉妹クラブ締結どころではなく、次々年度会長の小越さんに持ち越しになりました。姉妹クラブ締結文書も用意していた矢先のことでした。

ようやく小越年度の2006年7月に訪問し、調印式を交わすことができ、ほっとしたことを思い出します。新竹城中RCと2006年7月に姉妹クラブを締結して、今年で18年になります。この間、隔年ごとに相互訪問し、現在に至っています。令和5年度は三条クラブが訪問し、本年6年度は新竹城中クラブが来訪予定ですが、返答がありません。渡辺会長より、予算が厳しいと聞いているので、あえて新竹城中

クラブを誘わないようにしています。

余談ですが、RI全体でも会員数が減少傾向にあり、会員増強を図っていますが、特に日本の少子高齢化社会では今後益々会員減少に歯止めが利かなくなるのが危惧されます。しかし、台湾のクラブはこの20年間、37人前後で変わりません。会員増強しなければならないという意識はなく、むしろ入会に厳しく、亡くなった会員分を補充するようです。だから37人位が適正なのであると思います。

さて、話は変わりますが、近年天災が頻繁に続いています。先ほど2004年7月13日の水害から、3年後の2007年7月16日に中越地震が発生し、最大震度7を記録しました。当時三条市も震度4で、テーブルの下へ隠れたことを思い出します。道路が段差になり通行止め、死者68名、負傷者4805名の被災者が出ました。何と言っても2011年3月11日の東日本大震災です。マグニチュード9.0で国内観測史上最大規模だそうで、今から13年前の出来事です。死者約1万5000人、行方不明者7500人、12万5000人の人々が全国各地へ避難され、現在でもふるさとへ帰れず避難生活を送っている方々がおられます。当地三条市には福島県南相馬市より300名程の方が避難し、現在数名の方が三条市の職員になり移住しています。

震災後、諸外国から義援金が日本政府へ送金されてきました。最大の義援金は台湾政府の250億円でした。同じく、新竹城中RCは127万2000円を三条クラブへ送金してきました。当時の三条RCの会長は樺山仁さんで、私に相談に来られました。この際、三条南、北クラブにも話して各クラブ100万円ずつと新竹城中RC分合わせ、427万2000円を国定三条市長へ避難されている方々や福祉の一助として活用して欲しいということで、目録を3クラブ代表して私と樺山さんで市長へ手渡しました。

本年は元旦早々に能登半島地震が発生し、マグニチュード7.6で死者299人、行方不明者3人、負傷者1326人の被害者が出ています。まだまだ復旧の目途が立っていません。このように天災が続くと、これからの日本列島の行く末が案じられます。

次週例会 7月31日 「会員卓話」 荻根澤隆雄 会員

次々週例会 8月7日 「会員増強月間」
嘉瀬一洋 会員増強委員長

